

源太桜をたずねる ～金毘羅街道・中山越え～MAP

8 源太桜切り株

江戸時代に植えられた8000本あまり源太桜が植えられたが、近くにあった千原鉾山の火災でほとんど枯れてしまった。



10 馬の治療所跡

疲れた馬に灸をすえて体力を回復させていた治療所跡。



9 桜の記念樹

昔のように桜並木の金毘羅街道にしようとして記念樹が植えられている。



6 峠茶屋跡

小峠への急な山道を登りきると峠茶屋跡に着く。昔旅する人でにぎわったらしい。その頃の旅人の声が聞こえてきそうな感じがする。



7 地蔵

土谷小学校が廃校になる前には、小学校に通う子供たちが頭を撫でていたらしいお地蔵さん。今もやさしいまなざしで見つめている。



2 土谷集会所

4月第1日曜日に開催の源太桜祭りの会場になる。元土谷小学校跡にある土谷集会所には中山越えに架かっていた曙橋のミニチュアがある。



1 旧金毘羅街道道標

金毘羅街道の内、三内村から桜樹村(現在の滑川)に至る山道を中山越えという。札場の三叉路に「金毘羅大門より25里」の道標がある。南に行くと土佐街道。



3 金毘羅街道道標レプリカ

中山越えには元文4年(1739)に建立された「札の辻より6里」と書かれた里塚が建っていたが国道拡張の時に取り除かれたらしくレプリカが案内板の所にある。



11 源太桜(市指定天然記念物)

貞享4年に松山藩代官矢野五郎左衛門(通称源太左衛門)が囚人を使って8240株の桜を植えた。囚人達は植樹と水汲みの苦勞に堪えかねて「桜三里は源太の置き、花は咲くとも実はなるな」と歌った。それから中山越えを桜三里と呼ぶようになった。



11 源太桜(市指定天然記念物)

13 逆調整池 素掘りのトンネル

12 曙橋架橋地点跡

14 馬菩提也地蔵

道前道後 第三発電所

落出隧道

12 曙橋架橋地点跡

田桑地区に渡るために中山川にかけられた屋根付橋「曙橋」が架けられていたが、大正初期に取り除かれた。



13 逆調整池 素掘りのトンネル

逆調整池の堰堤を渡ると管理用の素掘りのトンネルに入る。真っ暗だが入口と出口に照明のスイッチがあり通る人が入れて渡り出口で消す。



14 馬菩提也地蔵

昔、馬を数珠つなぎにして追っていたところ、一頭が川に流され次々と川に流され死んでしまった。その後ここを通ると馬の鈴が聞こえる。それで馬の供養のために建てられたものと言われている。



5 小峠(こど)入口道標

この道標から山道に入る。しばらく急な登り道がつづく。



4 曙橋レプリカ

小峠入口の近くには中山越えに架かっていた曙橋のレプリカがある。地元の人たちが原寸大の大きさに復元した。国道11号線側のすぐ近くに、このような橋があると車を通る人には気づかない。



札場

旧金毘羅街道
道標

土谷集会所

↑駐車スペース
あり(4~5台)

貝坂

落出

滑川